

在鳴門 第176期

想いは生命の火／思念是生命的火

『在鳴門』の読者の皆様へ

大家好(こんにちは)!『在鳴門』を読み続けて下さり、心から厚く御礼を申し上げます。

2017年に鳴門市の国際交流員に着任してから、鳴門での見聞などを皆様にお伝えしてきました。正に光陰矢の如し、気がつけば、4年が経ち、この度国際交流員の任期が満了することになりました。皆様と別れるのは寂しいのですが、離任の挨拶をさせていただきます。

国際交流員の仕事は、翻訳・通訳や、友好都市に関する事務連絡、中国語講座、出前講座などさまざまです。これらの仕事を通し、中国語また中国の文化を鳴門市民の皆様にご紹介することが出来たと同時に、皆様から日本文化などを教えていただくことも出来ました。鳴門市のある小学校で出前講座を行った後、子供たちからお手紙をいただいたことがあります。「中国の信号はカウントダウンの数字が付いていることを知ってびっくりした」、「また中国のことを教えてください」等、子供たちのメッセージに感動感激しました。このような草の根の交流は私にとっての貴重な経験です。



中国語講座／中文講座

亲爱的《在鸣门》读者朋友们：

大家好!衷心感谢大家长期以来对《在鸣门》的支持与关注!

自2017年开始担任鸣门市的中国国际交流员以来,我通过《在鸣门》向各位介绍了自己在鸣门市工作和生活的所见所感。光阴似箭,我在鸣门度过了近4年的美好时光。现在,我即将结束任期离开鸣门。在此,我谨以此信向朋友们致谢道别。

国际交流员的工作内容丰富多彩、形式多样。通过资料翻译、随行口译、友好城市业务沟通、中文讲座、外出讲座等工作,我在向鸣门市市民宣传汉语和中国文化的同时,也学习到了诸多日本文化知识,收获甚多。有一次,在给鸣门市一所小学的学生介绍了中国文化之后,我收到了小学生们的来信。当我看到“中国的信号灯有倒计时数字显示,我很惊讶”、“希望下次再来给我们上课”等感想之时,我内心感动万分,激动不已。我想这就是“草根交流”的力量,此番经历也成了我人生的宝贵财富。



小学生からのお手紙／来自小学生的信

鳴門の祭りやイベントなどに参加し、地元の住民の皆様との交流の輪が広がり、新たな趣味を見つけました。

一つは、阿波おどりを踊ることです。鳴門で初めて阿波おどりを見たのは、鳴門に来たばかりの2017年4月に開催されたツーデーウォークのイベントの時でした。その時、阿波おどりの鳴り物、踊り子の衣装と振り付けに惹かれ、初めて踊りの輪に入って体験してみました。それ以降、仕事でもプライベートでも阿波おどりを体験する機会が増え、まるで渦に引き込まれたように阿波おどりを大好きになり、とうとう地元のプロの連に入ることとなりました。「踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆なら踊らにゃそんそん」とありますが、まさか自分が「踊る阿呆」になるとは思いませんでした。

もう一つは、徳島ヴォルティスのファンになったことです。最初は試しの気持ちでスタジアムに試合を見に行きましたが、応援団の皆さんと一緒にエールを送ったり、叫んだりして自分も選手と一緒にピッチで走っているような気がし始め、即座にシーズン会員の入会を決めました。4年間徳島ヴォルティスと一緒に戦い、一緒に成長する気持ちで応援し続けてきました。

阿波おどりと、徳島ヴォルティスへの応援は、今後も私の生活の一部となります。中国に居ても、鳴門の祭りやイベントが益々盛んになっていくことを願っております。



在鸣门市生活期间，我参加了很多具有本地特色的节日和活动。在同市民交流的同时，我找到了在鸣门的新爱好。

首先是加入专业舞队学习阿波舞。我第一次观看阿波舞的现场表演是在我刚来鸣门不久后的2017年4月，当时鸣门市正在举办市民徒步活动。阿波舞的传统伴奏、欢乐的舞蹈动作及舞者的传统服饰，深深吸引了我，我第一次参与到舞队中跟随演员们跳了起来。随着工作和生活中体验阿波舞的机会的增多，我仿佛陷入阿波舞的漩涡之中，逐渐爱上了阿波舞，并加入了专业的舞队，成了一名真正的阿波舞舞者。阿波舞的吆喝声中有“跳舞的是傻瓜，看舞的是傻瓜，只看不跳那就亏大了”，没想到我竟然成了“跳舞的傻瓜”。

另一个乐趣是我成了徳島 VORTIS 足球队的球迷。起初，我抱着试试看的态度去球场观看了第一场比赛。然而，在和拉拉队一起鼓掌、一同呐喊的过程中，我感觉自己仿佛也成了赛场一员，于是立即决定加入俱乐部赛季会员。4年来，作为徳島 VORTIS 球队的球迷，在助威的同时，自己也同徳島 VORTIS 球队一样，得到了磨砺，获得了成长。

阿波舞和徳島 VORTIS，将继续成为我人生的一部分。今后即使远在中国，我依然期待鸣门市的各项节日活动日益丰富多彩，不断发展壮大！



鳴門で4年間程過ごしており、鳴門で最もパワフルな存在は渦潮と海風だと感じています。

観潮船に乗り、目の前で潮流がぐるぐる回り、やがて大きな渦となるのを見るたび、轟く波の音を聞くたび、大自然の迫力に感服します。その魅力的な渦潮は何回見ても飽きません。友達が遊びに来る時も、週末の時もバスで鳴門公園に渦潮を見に行っていました。

鳴門の海風はほぼ毎日のように吹いています。しかも風の強い日が多く、ビュービューとした音が聞こえます。自転車に乗る時、飛ばされないように一生懸命ハンドルを握ってペダルを漕いでいました。雨の日には、傘が何回もひっくり返されることがありました。このような風の威力と戦う日々も面白い思い出になりました。

私の故郷は中国の湖南省にあり、山と川に囲まれている盆地です。世界地図を開いて見ますと、緯度が鳴門市より南ですが、気候は鳴門とよく似ており、春夏秋冬がはっきりしています。また、海に隣接していませんが、川や湖が多いです。小さい頃から小石をぼちゃんと川に投げて水面に広がっていく波紋を楽しんでいました。今後は、その波紋が鳴門の渦潮に見えてくるでしょう。また、故郷の青空を見上げる時も、鳴門の風景が浮かんで来るでしょう。



4年の鳴門生活、我感觉最具自然威力的就是鸣门海峡的漩涡和街巷的海风。

当我在观潮船上看到眼前汹涌的潮水旋转成为巨型漩涡之时，当我听到浪涛的轰鸣声之时，我都会被大自然的魄力深深折服。漩涡魅力无穷，百看不厌。友人来访鸣门之时，或周末闲暇之时，我都会乘坐公交车前往鸣门公园观赏漩涡。

鸣门多海风，且强风的日子较多，常常能听到狂风呼啸的声音。每当我骑自行车外出时，我都要紧握手柄，奋力脚踩踏板，稳住重心，以免自己被风吹倒。风雨交加的天气需倍加注意，我的雨伞曾多次被掀翻。如此与强风斗智斗勇的日子也成了我在鸣门的有趣回忆。

我的故乡在湖南省的山区。我的山村青山环绕，碧水长流。打开世界地图，您会发现，湖南的纬度比鸣门市还要偏南。但是家乡的气候和鸣门相差不大，春夏秋冬，四季分明。家乡虽不靠海，但河流湖泊众多。小时候，我常常在河边扔石头玩耍，欣赏水面漾起的波纹。今后，当我再次看到水面波纹的时候，我定会想起鸣门的漩涡。当我抬头仰望故乡的蓝天之时，我定会想起鸣门的风景。



「別れは明日の道であり、想いは生命の火である」。これは私が好きな中国の歌の歌詞です。これからも、鳴門を離れていても、鳴門への想いに変わありません。いつかまた鳴門に里帰りしたいと思っています。

鳴門市の国際交流員であったこと、鳴門市で4年間生活していたことを誇りに思っています。

皆さん、長い間本当にありがとうございました。次の再会を心待ちにしております。

それでは、ほなな。



“离别是明天的路，思念是生命的火”，这是我很喜欢的一首中文歌的歌词。今后，即使我远在千里之外，我对鸣门的思念也不会改变。有一天我会回来，探望我的第二故乡-鸣门。

鸣门市的交流員，4年の鳴門市生活，都已成為我引以為傲的回憶！

朋友們，4年時光，承蒙關照，感謝！衷心期待再次重逢！

朋友們，後會有期！



部門：鳴門市観光振興課

地址：鳴門市撫養町南浜字東浜 170

(〒772-8501)

TEL：088-684-1746/FAX：088-684-1339

E-mail：kokusai@city.naruto.i-tokushima.jp

編輯： 翟 羽佳